

単  
元  
名

## 私の「推し都道府県」

○ 小学校 ( 5 ) 年 教科等 ( 総合的な学習の時間 )

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

自ら課題を考え、タブレットや図書などを用いて、効率よく情報を集める力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

どの情報が最も適切かを選択し、まとめる力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

●情報収集…目的に応じて図書やタブレット端末で調べ、必要な情報を集める。

●整理・分析…課題を解決するために調べたことを、シンキングツールを使って整理し、自分の考えをまとめる。

●まとめ・表現・発信…整理した情報をまとめ、相手に分かりやすく表現するための場を設定し、バトル形式にすることで児童の意欲向上を図る。

○ 学習の展開 (全4時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)

第1次 情報を収集する。 (2時間)	①図書やタブレット端末を用い、47都道府県について調べ、調べたことを「食べ物」「観光」「産業」の3つの観点から仲間分けを行う。(☆)  ②調べた都道府県についての情報を整理し、相手に伝えるための表現を考える。(☆)
第2次 あつめた情報をもとに、発信する。 (2時間)	③各グループに分かれ、調べた都道府県について一人ずつ発表を行う。  ④グループの中からわかりやすかった発表をそれぞれ一人選び、電子黒板を使って「決勝戦」を行い、誰の発表が最もわかりやすかったかを評価する。

## (本時 1 / 4 時)

### ☆学校図書館等活用（本時）の学習

本時のねらい

- ・調べる都道府県について必要な情報を集め、三つの観点でまとめることができる。

#### 学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
○ 5分	<b>1. 本時の課題について知る。</b>  都道府県について調べて、 三つの観点で情報をまとめよう。	・どの都道府県について調べるかは、くじ引きで行う。 ・図書には必ず出典を明記させる。
○ 15分	<b>2. タブレットと図書を用いて調べる。</b> ・情報共有アプリ「ロイロノートスクール」を用い、タブレット端末で調べたことはカードに、図書を使って調べたことは写真を撮り、それをカード化してまとめていく。  ・調べた事柄に関しては出典を明記する。	・タブレットで調べたことは1点、図書ならば2点とし、併用しながら図書をできるだけ用いるよう働きかける。 ・図書だけに限定するのではなく、タブレット端末との併用を意識させる。
○ 25分	<b>3. シンキングツールを使い、集めた情報を観点ごとに分類わけをする。</b> ・Yチャートを使って「食べ物」「観光」「産業」の三つの観点で仲間分けを行い、集めた情報を分類分けしていく。 ・もし集めた情報がどれに属するかわからない場合は、いったんシンキングツールに掲載するのを保留したり、二つの観点到にまたがって掲載したりする。	・ただ情報を集めるだけではなく、集めた情報を整理し、分類することまで意識させる。

図書館活用  
ポイント

